

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|----------------------|-----------|-------------|
| 事業所番号 | 2491300196 | | |
| 法人名 | 株式会社 オルゴール | | |
| 事業所名 | グループホーム 奏 - kanade - | | |
| 所在地 | 三重県名張市安部田字花山2309番地 | | |
| 自己評価作成日 | 平成30年10月4日 | 評価結果市町提出日 | 平成30年11月22日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報公表システムページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/24/index.php?action=kouhou_detail_2017_022_kihon=true&JigvoNoCd=2491300196-00&PrefCd=24&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 |
| 所在地 | 津市桜橋2丁目131 |
| 訪問調査日 | 平成 30 年 10 月 18 日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームでの利用者と職員との交流を重視し、個々の能力を引き出す支援・サービス提供をもって事業所内外での生活を心掛けています。特に音楽に関わる催しは月に2回開催し月前半部のハーモニカ演奏会と月後半分の音楽セラピーを併設するデイサービスの利用者と合同にて実施しています。ま11月の地区の文化祭に出展する工作作品の取り組みは職員一同楽しみながら工夫を凝らし毎年度挑戦しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者と家族、職員に全幅の信頼ある法人代表者の下、地域や家族との繋がりを大切に、理念には皆護・懐護・快護・改護・会護の五つを掲げ、何をするにも利用者本位の暮らしを重視しながら、利用者と家族に向き合い一体での支援がされている。利用者個々の懐しの能力を活かし地域の文化祭に自慢の作品を出展している。又、一番の楽しみである食事は、近所の方からの新鮮な野菜の差し入れや旬の食材で職員の真心を込めた調理により五感を刺激し快よい食事が提供されている。そして家庭的な雰囲気での暮らしが出来るように、職員は常に笑顔で接しており、利用者の表情は明るく穏やかであり、利用者は安心して生き生きと暮らしている様子が伺える事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|--|---|---|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | グループホーム奏事業所の理念として「5つの介護」を掲げ職員各位に共通認識として日々のサービス提供に実践してもらえるように努力しています。 | 五項目の理念の下、地域や家族とのかかわり『出会い』を最も大切に、地域の行事には積極的に参加している。日々の暮らしでは利用者の懐かし能力(趣味・生き甲斐)が活かせるよう、利用者一人ひとりに合わせた支援を実践している。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 当事業所が所属する地区(錦生地区)の主催する文化祭に利用者様の作品の出展参加をはじめ、併設するデイサービスと共同開催する音楽セラピーに地区の人に来てもらったり近隣の保育所の園児さんの訪問では利用者様の手作り作品をプレゼントしたりと交流時間を大切にしています。 | 近くの保育園から園児の慰問があり、園児との会話が楽しい一時となっている。近所の方からの野菜の差し入れ、地域の行事(文化祭、運動会、ドキドキコンサート等)には積極的に参加し地域との交流を深めている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の自治会(会長)様や市民センターより、地域でのお祭りや行事企画などの連絡や招待等があり、一定のご理解・ご支援を築いています。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1回開催する運営推進会議には必ず利用者様のご家族様に参加してもらい。名張市まちの保健室様や名張市担当者様からのご意見・ご質問の時間を設け、夏の熱中症の予防法や他の事業所の参考になる事例などの助言や提案などを頂きサービス向上のご参考にしています。 | 会議は隔月に開催し、参加者から活発な意見や助言が交わされ有意義な場となっている。家族からの意見で利用者の暮らしや様子の写真を電子データで頂きたいと提案があり実行したり、食事の献立表の閲覧要望があり閲覧出来る様にした。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 包括支援センターからの介護相談員の訪問や名張市高齢・障害支援室との事業所運営で役に立つ補助金活用での連絡をはじめ社会福祉事務所からの定期的な訪問など協力関係に取り組んでいます。 | 事業所の実態報告や相談事、情報交換は主に運営推進会議の場や地域包括支援センター、まちの保健室と行っている。利用者には生活保護の方がいることから、市の生活支援室とは定期的に情報交換する等連携が出来ている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束の実施の有無に関する取組報告書に加え拘束の適正化に関する考え方と併せて明文化した書類を作成し日々の業務に身体拘束のないサービスに取り組んでいます。 | 身体拘束の適正に関する為の指針を作成し、職員会議やミーティングでヒヤリハット等日々の気づきについて話し合い、身体拘束の弊害を理解し、身体拘束しないケアを実践している。又、運営推進会議に身体拘束の実施有無に関する取組を報告している。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 上記書面と併せ、職員会議などで虐待に関する事柄を話し合ったり意見を求めたりするようにしています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 当事業所には生活保護受給者の利用者様が入所しており、家族を含め日常生活での支援方法を見聞きする機会を持ち、社会保険事務所のケースワーカーと接することで支援制度を学び活用できています。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約締結時は同書を照らし合わせわかりやすくご理解して頂けるように配慮しています。また、質問等お互いが納得できた形式にて今まで契約に至っています。また、契約書と重要事項説明書を1冊の製本にまとめ各々が紛失しないように配慮をしている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 日々、日常生活内で会話を積極的に重視し個々の意見や要望並びに家族様の意見を聞く事でニーズ対応につながるようにしています。また、行事などを写真に収め定期的にアルバム作成し外部への発信ツールとして活用している。また、家族様には順番で運営推進会議の出席をしてもらっている。 | 利用者とは日々の会話から聞き出し、家族とは面会時や事業所行事に参加された機会に、又、運営推進会議に家族代表として参加された機会に気軽に意見が言える関係づくりに努めている。出された意見は運営に反映している。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 月1回職員会議を開催し、職員の意見や提案のできる場を設けている。また、意見の行き違いのないよう職員提案ノートを作成しそこに意見を伝える機会を設けている。定期的に食事を開催し日頃の言いにくい聞きにくい事を話せる環境づくりを設けています。 | 法人代表と職員のコミュニケーションは良く、毎月の職員会議や定例の食事会、年1回の個別面談等で意見を聞いている。日々の気づきやアイデアについては職員提案ノートに記録し、職員会議等で話し合いケアの向上に活かしている。イベントは全て職員のアイデアで行われている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員内での意識向上を前提に、実績や努力、資格取得、研修参加、勤務態度の良好な職員にはそれらに似合った賃金条件整備をし、サービス提供の向上につながるようにしている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 可能な限り働きながら研修参加への取り組みを実施しています。認知症基礎研修、認知実践者研修、管理者研修への参加機会を設け職員の向上への取り組みをしています。今季は介護福祉士実務者研修に4名、認知症介護実践者研修に1名が参加しました。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 通所系事業所のリハビリ型通所介護事業所との交流を通して、当事業所のないソフト面の取り組みやサービス内容などお互いに情報交換をし互いのサービス向上にむけた活動をしています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 初期(入居時)では、可能な限り本人と会い、書面・書類だけで本人を理解せず引継ぎには家族をはじめ関わりの合った事業所や掛かりつけの医療機関へ話を聞き、その後の対応支援に努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 家族の抱えている悩み、入居後の協力相談は事業所の可能な限りの取り組む努力をしています。遠方に住む家族様の訪問時は駅まで送迎したり、車を運転しないご家族様の送迎等を積極的に実施しています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 管理者・計画作成者・看護師・職員の各視点からの意見を合議するようにしています。特に入居時に比較的多い要望に、定期受診(通院)の同行の要望が多く、事業所として断ることなく実施し、事業所の看護師を中心に職員共に密に相談し支援へと役立っている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 日常生活を意識し、家庭で行うこと(家事・炊事の手伝い)の含め菜園の水やりやシーツ交換の手伝いなど職員と共同作業をし、関係を深めている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 定期受診(通院)など可能であれば家族様に通院同行してもらい、医師より直接今の身体状況の説明を聞いてもらい事業所内での生活や支援方法を一緒に話し合うようにしています。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 入所前に住んでいた自宅の庭にある柿の木にカキを取りに行ったり、特に多いのは以前家族とよく行っていた飲食店でご飯を食べて帰られたりと施設外の場に足を運ぶことがあります。 | 馴染みのあるかかりつけ医に受診したり、行きつけの理美容院等に行き、自宅の柿狩りにも出掛けている。会いたい人では、多くの家族や親戚の面会がある。隣接の通所介護との交流で馴染みの方の出会と共に新しい馴染みの関係が生まれている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 共同生活する者同士お互いの尊厳を尊重し連帯感を持ってもらうように料理の手伝いや洗濯など複数で作業をしてもらっている。また、皆さん歌が好きなので合唱する時間も設けて連帯感を持つ時間を設けている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退居しても引継ぎに協力し、ご家族様からの支援を含めた相談をしています。また、ご家族様からのお礼の言葉や年賀状に感謝している。前に買い物先で退居されたご家族様から気軽に声をかけられた職員がすごく嬉しかった話をしてくれたことがありました。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 事業所内での生活を個々の生活リズムや性格などを考慮して、特に趣味の時間を大切にもらうように心掛けている。 | 思いや意向は、日々の会話や利用者と一対一となる入浴時・かかりつけ医の受診時等に聞き入れ、ミーティング時に報告すると共に、申し送りノートに記録することで皆が共有し、利用者の思いや意向に沿った支援に心掛けている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 生活歴や生き立ち・性格、家庭環境を反映し、束縛しない努力につとめています。併設するデイサービスに同級生や実家が同郷の方がいる方などは顔を合わせて話せる場を設けています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人一人身体状況が大きく違うので看護師やセラピスト(作業・理学療法士)、訪問歯科医、主治医の健康管理・定期受診の結果を把握して個々の生活に反映している。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護計画や個人データを一目できるようにカテゴリー別にファイリングし、日常の経過観察など定例会議にてケアマネ・看護師・職員がチーム一体となって意見情報交換をし、それらを反映した家族様が見ても理解しやすい計画書の作成に取り組んでいる。 | 介護記録から計画作成担当者が、概ね3ヶ月毎にモニタリングし、看護師も参加する定例カンファレンスでケア方針を意見交換し、状態に変化があればその都度、変化がなければ1ヶ月毎に見直しする事となっている。今期はケアマネが交代した事で関係書類の整備が遅れている。 | 介護計画はケアの実践に欠かせない事項であることから、計画→実践→モニタリング→計画の見直しの期間を再考し、モニタリング・見直し計画の期間等の仕組みを確立のうえ、それぞれの文書を整理されることが望まれる。 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護記録書は、使用様式を2部制を採用し1日の身体状況を常に記載し、一人一人ファイル保存しています。また、職員間では職員ノートを設け日常の引継ぎ(申し送り)をしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 通院をはじめ急な受診や服薬の管理など流動的な要望を怠ることなく多機能かつ柔軟に取り組んでいる。中でも入居条件で人工透析の利用者様のご家族からの要望で週3回透析送迎の要望サービスに努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 毎年恒例となっている地域の桜まつりに出向いたり、地区の文化祭、秋の地区運動会への参加、地場産栽培のキノコの購入、外食を行ったりと心身機能の充実を図れるように支援している。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 定期受診や透析利用の利用者様の通院を行い、連絡票をファイル作成し、情報交換する書面を設け病院と事業所との繋がりを持って、関係を築いている。 | 利用者と家族の同意により、事業所の協力医がかかりつけ医となり定期受診している。通院の際は職員が付き添い、「看護連絡ファイル」で事業所と医師の情報交換し、利用者の健康状態を共有出来ている。看護師は服薬を担当し適切な医療支援が出来ている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 処方された服薬剤や医療面での疑問相談を看護師と密に話し合い、その場で解決できない事柄はかかりつけ医に直接連絡し意見を求めるようにしている。また、服薬剤が変更・追加などがある場合は特に看護師を中心に話し合い書面での共通認識として情報交換をしています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入退院には前もって職員、ケアマネが病院へ足を運び直接病院で状況確認へ出向き、その後介護記録や介護計画の医療機関への提供や看護サマリーの受理を行い、迅速なサービス対応につとめている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 緊急時以外は出来る限りその場その場での対応を少なくするため、前もった支援を家族との連携と看護師、医療機関との連携も含めその人に合った対応をチーム全体にて協力しながら取り組んでいる。 | 事業所としては、現状の人的及び医療体制から看取りの支援が無理と考え、家族に理解してもらっている。特養の入所申込みをしている方もいる。重度化や緊急時については救急車の手配を含め、協力医に相談し指示の下、家族と話し合いのうえ、病院(入院)・老健・特養等の施設を紹介することになっている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 施設内の緊急対応マニュアルを作成し事業所内の見えるところに設け職員全体に周知している。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 避難訓練の実施と、年2回の消防保守点検・消防機器点検の実施を怠ることなく取り組んで災害対策に努めている。消防災害関連設備の充実を心掛けている。また近隣の方のご協力のもと所有地を当事業所の緊急第一避難場所として指定し職員に周知しています。 | 防火対策としてスプリンクラー設置、IHの調理器具を備え、防火設備の点検を実施、火災等の一時避難場所を事業所前の駐車場とし、災害時の備蓄も用意しているが、本年度は今回の調査日までは避難訓練が実施されていない。 | 利用者と職員が昼夜を問わず安全に避難出来る様に、地域(近隣の方)の協力も得た避難訓練を定期的の実施されることが望まれる。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 個々の性格を十分に把握し、人格と尊厳を尊重して一人一人の対応・コミュニケーションの違いを意識しています。 | 利用者の意見を尊重すること、プライバシーの確保はケアの基本であり、職員会議やミーティングで周知している。日々の暮らしは本人本位で自由に過ごせるよう心掛けている。羞恥心の面では特に排泄時や入浴時の介助に気配りしている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 事業所から利用者を与えるサービスではなく、興味を持っている要望や趣味を自己決定し、実践してもらうことのできる環境作りに努めています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | デイサービスに顔見知りの利用者様がいる方には会って会話をする機会を設けたり1日の時間をできる限り個人的に使ってもらえるように支援しています。また、趣味の作品を展示し、周知してもらうことでその人が意欲の出る環境に配慮している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 起床してから着替えや洗顔をし、外出時には外出用の着衣・化粧をしたりと整容支援をできるようにしています。家族にも季節に応じた服の入れ替えにも協力をしてもらっている。また、定期的に訪問理容を実施している。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 旬いで食欲をそそるようにホットプレートで調理したり、食事制限のある人にも主治医との相談を踏まえ可能な限りの食事提供を行うようにしています。食材の準備や配膳、下膳の手伝いなどは職員と共に100%手づくり料理を提供している。 | 利用者の楽しみの一番は食事であることから、利用者の好みも入れた献立で、食材は旬の野菜・魚など準備し、三食とも調理は職員手作りの多彩で美味しい料理が食卓に並び、利用者と職員が同じテーブルで一緒に楽しむ食事タイムとなっている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 主治医、看護師との相談を留意して、差別感の出ない献立と盛り付けを職員のアイデアを取り入れ工夫しながらに努めている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 訪問歯科の定期受診口腔ケアや義歯の作成など歯科医師の指導を取り入れた対応をしている。また食事前の口腔体操も行っています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排尿は自分でしてもらうことを基本的にし、一人で不可の人には見守りを持って対応しています。一部の方は布パンツで生活している利用者様も居ます。 | 排泄記録から個々の排泄パターンを把握し、一部の方を除き、日々の表情から排泄サインを察知して、誘導と見守り重視でトイレ排泄となるよう支援している。全利用者とも朝と寝る前、食事前の排泄が自然と習慣になっている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 主治医と看護師との相談のもとに食事面の工夫をし、便秘予防に取り組んでいます。また、衛生面からも下痢や食あたりのないように気を付けています。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 男女の入浴日を一日おきに別とし、男女の尊厳を持って気兼ねすることなく入浴をしてもらえるように配慮している。月水金は女性・火木土が男性の入浴日。ただし、状況により変則的になる場合があります。 | 男性と女性の入浴日を一日交代で、週3回午後1人ずつ湯を入れ替え20分～30分のゆっくり、ゆったり入浴となっている。浴室は広く入浴介助や入浴時に職員との会話もでき、一对一の寛げる時間となっている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 特に就寝時間等の決まりを設けず居室内では個々でTVを見たり早く就寝したりとその人ごとに安眠・休息の提案をしています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 名前といつ服薬するのかを明確に表示し、セパレートボックスに各利用者ごとに配置しています。その日処方された服薬剤は看護師に確認してもらい個々に朝・昼・夕・眠前と服薬管理し、職員と連携した管理に努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 菜園の水やり、新聞を取りに行く役割、趣味の工作、洗濯干し・たたみ、など個人の楽しみを生活の中でできる限り取り入れた支援をしている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 気候・温度の良い日は歩いて近所まで散歩をしたり、川沿いに咲く花などに触れたり積極的に戸外へ出向く機会を設けている。体調の良い利用者様と買い物へ行くこともたまにあります。 | 天気が良ければ午前中に事業所前の川沿いの野花を見ながら散歩、外気浴を兼ね菜園の手入れ、近隣の通所介護事業所に出掛けの交流、かかりつけ医への受診、ドライブを兼ね桜の観賞と外食を楽しむ等、多くの外出支援が行われている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 基本的に本人並びにご家族様からのご理解の了承のもと、金銭トラブルのないように当事業所での金銭所持はご遠慮していただいています。また一部の利用者様は管理可能であるとご家族様と話し合い所持してもらっています。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 本人より電話をすることは無いですが、お正月には年賀状が届いたりしています。中には家族様より孫様の誕生報告や以前には利用者様の若い日の写真が届いたりもしました。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 建物のつくり設計が木材の素材をそのまま活用しているため事業所内が明るくまた一列平行に居室・食堂は配置設計されているので比較的資格の少ない作りになっています。事業所内には季節のイベントの写真を掲示し施設内の季節感を演出しています。 | 全ての共用空間はきれいに整理整頓されている。廊下・居間・居室の床は木材の素材が使われ、木の温もりが肌で感じられる。居間兼食堂と対面式のキッチンから食事の準備する音や匂いが利用者の食欲を誘う。加湿器の設置と適切な温度管理で快適で居心地よい空間となっている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 相性や話の合う者同士間の居場所空間を配慮したテーブル座席の配置とそこに職員・訪問の際にご家族様も入れるように工夫している。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室内は傷つけたり穴をあけたりしない限りは自由に使用していただき、使い慣れた備品を自宅より持ってきてもらったり、好みのレイアウトをしてもらうことで各自居室の違いを出してもらっています。 | 居室への持ち込みは、危険物以外は本人や家族の希望で何でも持ち込み可能である。使い慣れた家電(テーブル・椅子・タンス・テレビ等)、お気に入りの衣類や小物の持ち込みがあり、壁やタンスに家族の写真や好みの小物が飾り付けされ、利用者個々の部屋づくりとなるよう工夫されている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 廊下足元には余計な物品などは配置せず、毎日掃除を徹底し安全・安心配備に心掛けられている。 | | |